

滋賀ロケーションオフィス ニュース



第4号 平成15年(2003年)11月20日発行

発行：滋賀ロケーションオフィス
(社団法人びわこビジターズビューロー内)
〒520-0044
滋賀県大津市京町四丁目1番1号
滋賀県商工労働会館 3階
TEL：077-511-5775
FAX：077-523-7555
E-mail：info@shiga-location.jp
URL：http://www.shiga-location.jp

サポーター登録者数 733人
(平成15年11月5日現在)

全国390万世帯のお茶の間に“雄大な琵琶湖”を紹介 24時間テレビ26『愛は地球を救う』(読売テレビ)



スタート直前、緊張の瞬間です

恒例となった真夏の宴、『24時間テレビ』も今回で26回目。今年の同番組では、子供たちが日本一の琵琶湖を横断する様子が日本テレビ系列の全国ネットで放映されました。昨年達成できなかった富士登山のリターンマッチとなるこの企画では、彦根市の新海浜水泳場から高島町の白鬚神社まで、湖上に浮かぶ神社の鳥居をゴールに見立てて、子供たちが精一杯頑張りました。また、番組では、琵琶湖の紹介に加え、リアルタイムの琵琶湖の表情も全国に

伝えることができました。

滋賀ロケーションオフィスでは、この企画を琵琶湖の情報発信の好機ととらえ、撮影地の選定や撮影に関する許可手続きのお世話、宿泊施設の紹介など、全面的な支援を行いました。

8月24日の当日は、タレントの石塚英彦さんと共に子供たちが見事、琵琶湖横断を達成。琵琶湖の雄大な風景をあますところ無く全国に紹介しました。(※本番組の平均視聴率は14.95%で、全国で390万世帯がご覧になりました。)

お見事!職人技

テレビドラマ『天切り松 闇がたり』(関西テレビ)

大勢のスタッフがそれぞれの役割を担って働くロケ現場で、とりわけ作品世界をビジュアルに形にしていくのが美術スタッフの仕事です。特に時代劇では、大道具や小道具をフルに使いこなし、現代の風景をたちまちその時代にふさわしい風景に変えてしまいます。その仕事はまさに「職人技」です。

さて、7月下旬に、ドラマ『天切り松 闇がたり』のロケ撮影が浜大津の大津市社会教育会館で行われました。この建物は、昭和9年に大津公会堂として建てられ、戦後は内部改装が施されて全国で最初の公民館となり、現在もなお市民活動の拠点として利用されています。円形やアーチ型の窓を施した個性的な外観は、浜大津界わいの近代的なビル群のなかにおいて、歴史を感じさせる落ち着いた雰囲気漂わせています。

ロケ撮影では大正の頃の東京の警察署という設定で、この建物の一室が警察署長室となりました。

撮影当日、玄関前にトラックで乗り付けた美術スタッフが、様々な道具類を手際よく館内に搬入してから2時間もすると、殺風景な会議室がご覧のような警察署の署長室に早変わり。



室内の元の内装に合わせて運び込んだ道具類が、まるで最初からそこに存在したかのようにきちんとおさまっていて、にわかごしらえとはとても思えません。ここでは、出演者の椎名桔平さんや中村獅童さんの出演シーンが撮影されました。

このドラマは作家の浅田次郎さんの同名小説が原作で、盗られて困らぬ天下のお宝だけを狙い、貧しい人々には救いの手をさしのべる怪盗が、大正ロマン華やかかなりし帝都東京を舞台に活躍するというストーリーです。2004年お正月の放映予定です。ぜひご覧下さい。

フィルムコミッションは「文化力」だ!

日本に初めてフィルムコミッションが誕生したのは、今から4年前。現在、その数は全国で50を超え、フィルムコミッションの設立がちょっとしたブームとなっています。

全国フィルム・コミッション連絡協議会(全国FC協議会)は、各地のフィルムコミッションがさまざまな課題を協議するため設置された組織で、滋賀ロケーションオフィスは、その理事に就任するとともに、企画委員会のメンバーとして、積極的な活動を行っています。

さて、この全国FC協議会が、今年10月、事務局を東京国立近代美術館フィルムセンター内に移転したことを記念し、文化庁主催の記念イベントが開催されました。

我が国の経済がソフト化するなかで、今後、映像産業などの文化的産業の振興が望まれているため、経済産業省、国土交通省、文化庁も横断的にその振興に取り組んでいます。特に、文化庁では、映画振興予算を倍額にするなど、「文化力」向上の基盤としてのフィルムコミッションに、熱い視線を注いでいます。



映画監督の山田洋次さんや女優の島田楊子さんも参加されました。

NHK金曜時代劇『はんなり菊太郎2 ～京・公事宿事件帳～』

昨年たかしの秋に放送されて好評だった内藤剛志さん主演のNHK金曜時代劇『はんなり菊太郎～京・公事宿事件帳～』の続編が制作されることになりました。滋賀ロケーションオフィスでは、この作品のロケハン情報を聞きつけ、琵琶湖の素晴らしい自然環境がドラマを通じて広く紹介されるとともに、数日にわたるロケ隊の宿泊などにより大きな経済

効果が期待できることから、琵琶湖畔でロケが行われるよう積極的な誘致活動を展開いたしました。

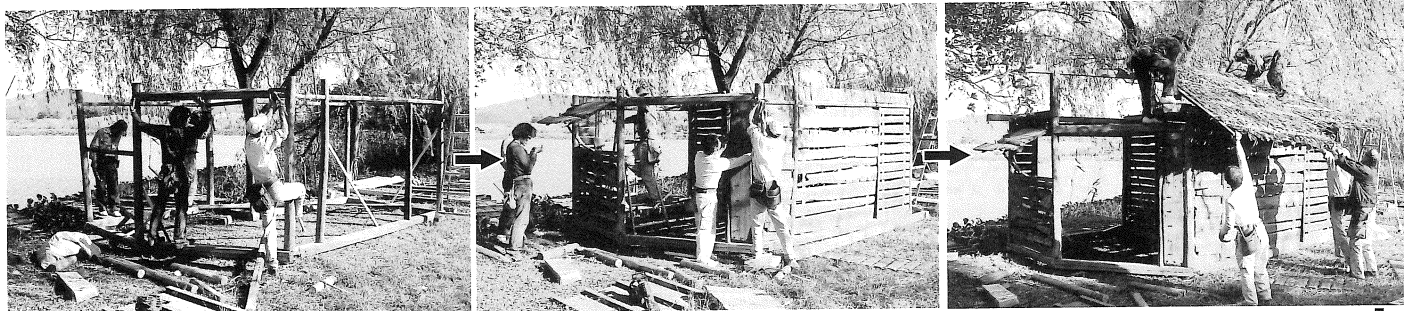
誘致に成功した今回の撮影は、琵琶湖のほとりに撮影セットを建てて行う本格的なもの。セット建設の様子も交えながらロケの様子をレポートします。

江戸時代の京都を舞台に、公事宿に居候しながら数々の事件を解決していく田村菊太郎。この作品は、頭も切れれば腕も立ち、義侠心に厚い粋な男・菊太郎の推理と刃が人の心の闇に迫る痛快時代劇です。

オフィスが以前に支援した制作者からロケ地探しの情報を聞きつけたのは、暑中の盛りの8月半ば。琵琶湖岸を中心に、沖島にまで足をのばしてロケ地を紹介。最終的には近江八幡市内の西ノ湖畔に劇中で使用する漁師小屋の撮影セットを建ててもらい撮影を行うことになりました。柳の枝が風に揺れる水辺は、もともと木製の栈橋があったりして、背景にはのどかな水郷風景が広がっている素晴らしいロケーション。

時代劇ロケではNGとなるバレモノ（※）が周囲に無く、撮影には理想的な環境です。

ここに、10月半ばの2日間で美術スタッフによるセットの建て込みが行われました。セットデザインは、山田洋次監督の映画『たそがれ清兵衛』など数々の名作を手がけてきた美術監督の西岡善信さんによるもの。あらかじめスタジオで仮組みされたセットは一度分解されて、美術スタッフの手によって現地で再び組み直されました。小屋一軒分のセットともなると、建て込み作業も家普請そのものです。6人のスタッフが手際良く組み立ていくなか、漁師小屋はしだいにその姿を現していきます。小屋の中では、土間となる部分の囲炉裏づくりも同時進行。なんだかそのまま住めそうな感じ…。



柱を立てると輪郭もちょっと家らしく。

壁の取り付け。板は古い舟材などからの流用です。

棟木をわたして屋根を葺きます。

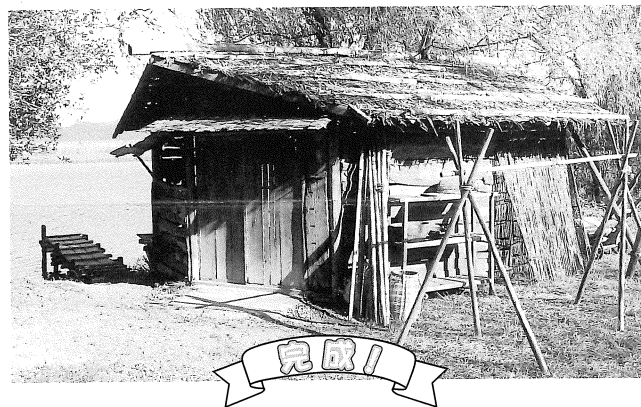
作業2日目。周囲の環境に合わせて細かい手直しを加えます。

素人目にはすっかり出来上がっているように見えても、スタッフのリアリティへのこだわりは尽きません。

打ち付けた板の角度を微調整したり、古色を出すためには水辺の泥を塗りつけてみたりもします。また、屋根には落ち葉をまき、小屋の入口付近は雑草を除いて地肌をむき出しにすることで、人が住み暮らす自然な雰囲気を出します。

午後からは小道具スタッフが現地入りし、網や籠など漁師らしい小道具が周囲に配置され、いよいよ最後の仕上げへ。

そして出来上がりは右の写真の通りです。スタッフの熟練の技は、撮影セットを周囲の環境と見事に調和させていました。



撮影当日。2日間にわたって行われた撮影は、あいにく初日から雨にたたられて天気待ちが続き、撮影スケジュールも押し気味でスタート。

雨のためにセットの周囲もぬかるみとなるなど、コンディションの悪いなか、どうにか撮影は無事終了しました。

また、この作品では、近江町内の湖岸でも一部のロケが行われました。

放送は、来年1月9日からスタートします。全6回中、県内でロケが行われたのは第2回分です。ぜひ、みなさんもお覧ください。

（注）バレモノ：近代的な建物など人工物のことです。



幻の恐竜「ビッシー」を追え!

おくざきあやみ

奥崎絢美

プロモーションDVD

(企画製作：
Fuzzy Function)

真夏の太陽が降り注ぐなか、琵琶湖岸で奥崎絢美ちゃんのプロモーションビデオの撮影が行われました。絢美ちゃんは、i-mode待受画面や美少女メロにも登場している、ただいま売り出し中の美少女アイドルです。

さて、物語は、F学園放送部員である絢美ちゃんが琵琶湖に生息すると言われる幻の恐竜「ビッシー」を追って、琵琶湖にやってくるという設定です。撮影は、彦根市の新海浜水泳場を中心に、最近改築されたJR能登川駅などで行われました。絢美ちゃんが双眼鏡で琵琶湖を眺めたり、「鮎すし」で「ビッシー」をおびき寄せたり、美しい琵琶湖の風景が満載です。

この作品では、プロモーションビデオをとおして、琵琶湖の風景が全国に紹介されるため、オフィスではロケ地となった水泳場や駅舎の使用許可などのお世話をしました。

これからも、オフィスでは、映画やTVだけでなくプロモーションDVDなど様々な媒体を通じて、滋賀県の魅力を発信していきます。



DVDは「MYSTERIOUS奥崎絢美」と題して、12月19日からリリース開始予定です。

滋賀県舞台のサスペンス

月曜ミステリー劇場『湯の町コンサルタント 3～琵琶湖真珠殺人事件(仮)』(毎日放送)

大の城好きで、天守に登れば素晴らしい推理の牙えで事件を見事解決！—そんな温泉旅館コンサルタントを演ずるのは坂東三津五郎さん。事件の謎解きとテンポの良い会話、そして城の風景、旅館の豪華な料理と露天風呂。2時間サスペンスの人気シリーズ第3弾が滋賀県内で撮影されました。

滋賀ロケーションオフィスは、今回の作品は滋賀県が舞台の作品であること、とりわけ県内北部が主要ロケ地となることから、滋賀県の豊かな歴史遺産や美しい自然、また魅力的な観光資源を全国に紹介するチャンスとして、シナリオハンティングの段階から積極的な支援を行いました。

9月中旬の11日間、彦根市や長浜市周辺の各地で行われたロケ撮影では、主演の坂東さんほか、池上季実子さんや角野卓造さん達が来県されました。

また、オフィスのサポーターからも、延べ120人の皆さんにエキストラとして出演していただきました。

現在のところ放送日は未定とのことですが、これからは毎週、月曜日のTV番組表を要チェック！ テレビを見ながらロケ地探しをしてみるのも面白いかもしれません。どうかお見逃しなく。



エキストラ役のサポーターの皆さん。なかなかキマっています。



大変貴重な経験ができ、喜んでます。今後も非力ながら、滋賀ロケの「第2の富良野」を実現できるよう協力させていただきますので、よろしくお願いいたします。
森 重行さん

サポーターのみなさんから



(前略) 今までにない俳優気分のエキストラでした！東京でエキストラなどとして出たことがありますが、2度くらい通行したら「お疲れさま～」というのがほとんどでした。今回は、現場の様子もじっくり見られたし、ちょこちょこ出番もあり、表方も裏方も勉強になりました。自分が身につけたものも少し役に立って、なおうれしい！（着物だったので、日舞のお作法が少し役に立ちました。）今後も、身につけたものをお役に立てるエキストラが来るといいなーと心待ちです。

市田昌子さん

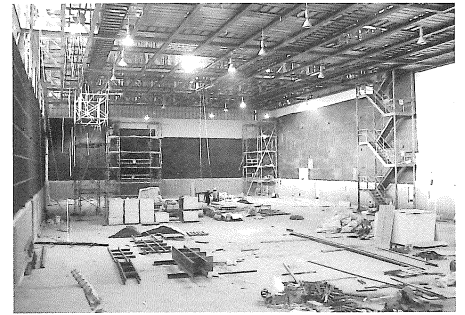
BIFCOM2003に参加しました

BIFCOM2003は、“2003 Busan International Film Commission & Industry Showcase”の略で、韓国の釜山フィルム・コミッションが主催する映像制作のプロモートミーティングです。この催しには、アジアを中心に世界の映画監督やプロデューサーが集うことから、滋賀ロケーションオフィスもロケ誘致を目的に積極的に参加しました。



現在、日本では、NHK・BSで放送された韓国のテレビドラマ『冬のソナタ』のロケ地訪問ツアーが大人気ですが、逆に、いつの日か、外国でも「滋賀・琵琶湖」が舞台となる映画・ドラマが制作され、そのロケ地を訪ねて多くの外国の方々に来県していただくことを夢見ながら、積極的なロケ誘致を行いました。

韓国では、IT時代の中核となる映像産業の振興を国家戦略の一つに位置付けています。このため、釜山フィルム・コミッションも、映画撮影の誘致や支援といった通常のフィルムコミッション業務のほか、映像関連施設を一体的に整備して、映像制作者に利便を提供しています。この施設の映像ベンチャーセンターにはレンタルスペースを設けて、現在、18の映画関連会社が入居しており、デジタル試写会も可能なセミナー室や会議室を備え、カメラなど撮影機材のレンタルも



来年オープンに向けて、大型スタジオの建設が急ピッチで進んでいます。

行っています。

また、フィルムコミッション自体が映画スタジオを運営しているのも、ここの特徴です。既設の250坪のスタジオに加えて、2004年には特殊撮影施設の揃った韓国国内最大のスタジオも建設される予定とか。

近年、映画『シュリ』や『JSA』など、日本のみならずアジア各地を席巻し、熱い注目を集めている韓国映画の原動力を垣間見る思いがしました。

滋賀は映画の宝庫だ!

「湖国ゆかりの映画選」上映会が開催されます

滋賀は、これまでたびたび映画の舞台となり、数多くの映画が撮影されてきました。そんな湖国ゆかりの映画を集めての上映会が開催されます。

個性的でユニークな上映会を開催し続けている水口町の碧水ホールによる企画上映会です。今回上映される映画は全部で6本。どの映画も何らかの形で滋賀にゆかりのある映画ばかりです。

今回の上映会は、滋賀ロケーションオフィスも後援していますので、ぜひご覧下さい。

平成15年11月29日(土) 11:30-13:06 「雨月物語」
13:30-15:20 「反逆児」
15:40-18:24 「幻の湖」
平成15年11月30日(日) 11:30-14:18 「祇園祭」
14:40-16:10 「冒険大活劇 黄金の盗賊」
16:30-18:06 「彌次喜多道中記」
各回入替制 入場料：1回500円 フリーパス前売り2000円
当日2500円
会場・問い合わせ：碧水ホール[滋賀・水口町] TEL0748-63-2006



映像企画の支援にも力を入れています

オフィスでは、先日、長浜市の県立長浜ドームで開催された「びわ湖環境ビジネスメッセ2003」(11月5日～7日開催)に、映像制作者を案内し、番組制作の企画を要請しました。

取材に訪れたのは、昨年、オフィスの支援のもとに、スカイパーフェクトTV!の京都チャンネルで滋賀の情報番組『琵琶湖プロジェクト』(全12回)を制作された田原敏孝さん。

田原さんは、これまで関西テレビ放送で数々のテレビ番組を制作され、昨年の『琵琶湖プロジェクト』では県内各地を取材・撮影されています。

今年で6回目となる同メッセは“地球と私たちを豊かにする「新」環境ビジネス”をテーマに、過去最大となる231の企業や団体が出展。田原さんは今後の番組企画に向けて、環境



取材する田原さん(右から2人目)とオフィスの職員代表(右から3人目)。

ビジネスの先進的な取り組みや製品・サービスなどを熱心に取材されていました。

オフィスでは県内への撮影誘致を効果的に行うため、映像作品の企画やシナリオハンティングなども積極的に支援しています。

編集後記

今号では、ロケ現場での制作スタッフの活躍を紹介してみました。ライトを浴びる俳優さん達のまわりで、裏方として奮闘するスタッフの様子を少しでもお伝えできたなら幸いです。さて、オフィスでは現在、年末年始恒例の長編時代劇ドラマの県内ロケを支援しています。『太閤記～サルと呼ばれた男』(関西テレビ)、『竜馬がゆく』(テレビ東京系=びわ湖放送) などなど。この年末年始はドラマを楽しみながら滋賀のロケ地探しに興じてみてはいかがでしょうか。

私たちは、滋賀の素晴らしい風景や文化などを全国に紹介するため、滋賀ロケーションオフィスの活動を応援しています。

滋賀県信用保証協会 株式会社滋賀銀行
滋賀県中小企業団体中央会 株式会社びわこ銀行
滋賀県興行協会 西日本電信電話株式会社
滋賀県バス協会 NTTオートリース株式会社
株式会社ゼンリン 大津プリンスホテル
琵琶湖汽船株式会社 株式会社TMオフィス
アインズ株式会社 宮川印刷株式会社
株式会社ヒサダ昭栄堂 (敬称略・順不同)